

新型コロナウイルスの影響による市立小中学校休校措置についての要望

2020年4月2日

町田市議会諸派 矢口まゆ

東京都は、小中学校を管轄する区市町村の教育委員会に対しても、都の休校の取り組みを参考として、強く協力を要請するとしております。

町田市では、現在のところ、休校延長についての方針は出しておりませんが、感染拡大の状況は日々変わっていく中で、いつ選択を迫られてもおかしくない状況と存じます。

3月2日より市立の小中学校が休校となり、学童保育の現場では急な対応に追われました。学童保育運営者の負担感が非常に大きくなっている事は、私以上に職員の皆様が肌で感じておられる事と存じますが、学童保育の現場の負担を少しでも軽くするため、今後のご対応について以下2点を要望をいたします。

- ① 方針の打ち出しをできるだけ早くするなど、現場が少しでも余裕をもって対応できるよう、ご尽力いただきたい。
- ② 休校延長が決定した際には、曜日を分ける、時差登校をする、高学年の空き教室を使うなどの工夫で、“3密”にならないよう配慮した上で、日中は学校での児童生徒の受け入れをするなど、学童の職員の方々が通常通り14時ころからの勤務とできるような方針を検討されたい。

これまでのやり方で学童保育にて休校措置の対応をすると、学童保育の職員の方々は、通常14時出勤のところ、朝8時出勤となるような、非常に大きな負担増が続くこととなります。

すでにご配慮いただいている事とは存じますが、引き続きのご配慮を重ねてお願い申し上げます。

以上